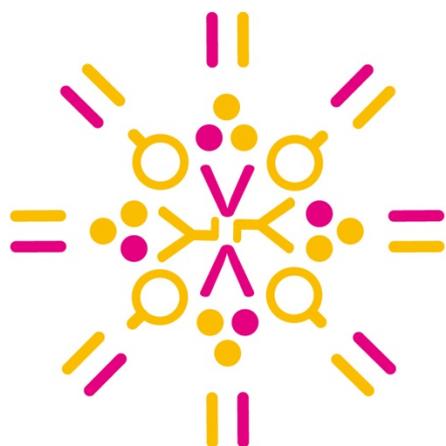


“多様性”と“つながり”の深化を目指して

～「農業女子プロジェクト」第3期に向けて～



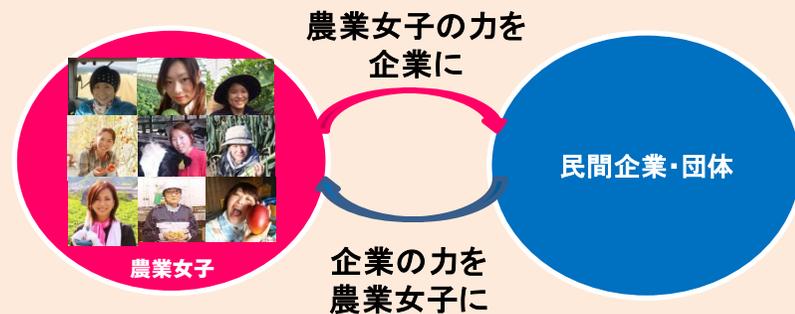
農業女子PJ

平成27年10月27日
農業女子プロジェクト事務局
(農林水産省 経営局 就農・女性課)

「農業女子プロジェクト」について ～概要～

「農業女子プロジェクト」は、女性農業者が日々の生活や仕事、自然との関わりの中で培った知恵を様々な企業のノウハウなどと結びつけ、新たな商品やサービス、情報を社会に広く発信していくためのプロジェクトです。

このプロジェクトを通して、農業内外の多様な企業・団体と連携し、農業で活躍する女性の姿を様々な切り口から情報発信することにより、社会全体での女性農業者の存在感を高め、併せて職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。



個別プロジェクトの推進

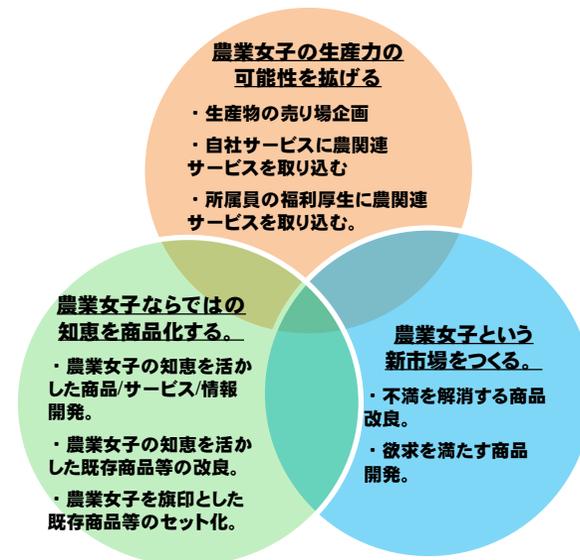
- プロジェクトの趣旨に賛同した企業と女性農業者が協同で、**新たな商品やサービス、情報等の開発**を行う。(それぞれの企業活動の一環として推進。)
- 企業とのコラボレーションで発揮されるのは、農業女子の持つ「生産力」「知恵力」「市場力」という3つのチカラ。
- 平成25年11月、自動車やファーストフード、旅行会社、ホテルなど農業女子と様々な業種の企業とのコラボレーションを開始。

プロジェクトの広報活動など

- 個別プロジェクトの進捗状況、季節ごとに農業女子目線でのイベントの開催等、プロジェクトの活動を積極的に発信。
- サポーターズとの連携による拡がりのある活動の推進。

DATA(平成27年10月現在)

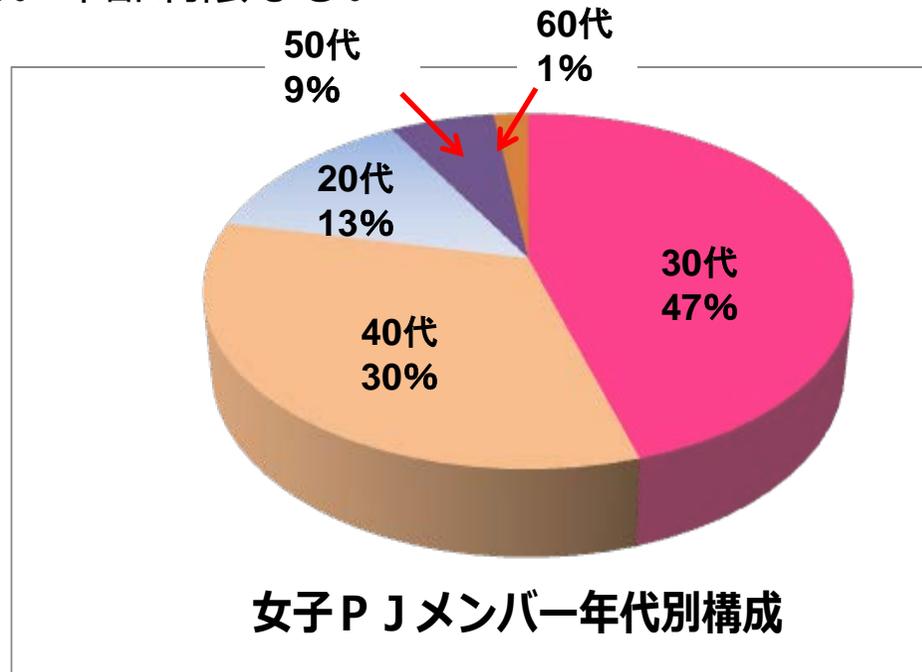
○農業女子:366名 ○参加企業:21企業 ○サポーターズ 265名



広く社会に発信

多彩な農業女子メンバー（27年10月現在）

農業女子PJメンバーは、「私の仕事は農業です」と言って、「自分の農業をもっと発展させたい」という意欲のある女性のみなさん。年齢制限なし。



発足当初の37名から、2年で10倍近く増加、47全都道府県で誕生！

【都道府県別】

- ①千葉県（26名） ②群馬県（24名） ③岡山県（24名） ④愛知県（21名） ⑤北海道（18名）

【就農歴別】

1～5年目：55% 6～10年目：22% 11年目以上：19% （不明4%）

【就農ルート】

嫁として就農：35% 後継者：32% 新規就農（独立自営/法人雇用）：33%